

政策	2章 政策3	高齢者の保健福祉を充実させる	
主管課	介護長寿課	関係課	

1. 政策の方針・指標・関係者の意見等

(1) 政策の対象と方針

対象	政策の方針
高齢者	高齢者が住み慣れた地域で、生き生きと、安心して暮らしていける長寿社会の実現を目指して、福祉、介護、保健分野のサービス提供のほか、生きがいづくり、就労支援、権利擁護、地域の支え合い、在宅医療との連携など、高齢者を支えていくための体制を構築、推進します。

(2) 政策の基礎的データとなる指標

基礎的指標			単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	高齢者数		人	見込値					14,049	14,337	14,699	14,938
				実績値	-	-	13,568	13,958	14,166	14,328		
②	後期高齢者数		人	見込値					5,987	6,219	6,506	6,902
				実績値	-	-	5,802	5,834	6,127	6,234		
③	一人暮らし高齢者数、高齢者のみ世帯数		人、世帯	見込値								
				実績値	-	-	6,545	6,881	7,008	7,272		
④	要介護認定率		%	見込値					17.0	16.7	16.6	16.6
				実績値	-	-	17.0	16.7	16.3	16.2		

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト								前期基本計画期間				
指標区分		指標	単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (前期目標値)
A	総合計画	通いの場（地域デイサービス等）への参加人数	人	目標値					1,500	1,700	1,900	2,100
				見込値					1,163	1,283	1,406	1,546
				実績値	1,919	1,604	1,091	1,057	1,166	1,278		
B	総合計画	認知症サポーター数（累計）	人	目標値				4,800	5,100	5,400	5,700	6,000
				見込値					4,917	5,267	5,617	6,000
				実績値	4,030	4,325	4,444	4,567	4,881	5,157		
C	総合計画	介護予防ボランティアポイント制度への参加人数	人	目標値					-	200	200	200
				見込値					-	200	110	200
				実績値	-	-	-	-	-	17		
D	参考	地域包括支援センターにおける総合相談の件数（実件数）	件	目標値					2,100	2,150	2,200	2,250
				見込値					2,100	2,150	2,200	2,250
				実績値	1,239	1,550	1,489	1,786	2,444	1,952		
E				目標値								
				見込値								
				実績値								
F				目標値								
				見込値								
				実績値								
G				目標値								
				見込値								
				実績値								
H				目標値								
				見込値								
				実績値								
施策コスト 施策に関する事務 事業の合計額		事業費	千円					4,760,410	4,650,640	4,789,578	0	0
		国・県支出金	千円					4,323,154	1,087	1,303		
		地方債	千円					0	0	0		
		その他	千円					10,150	11,792	13,329		
		一般財源	千円					427,106	4,637,761	4,774,946		

※令和4年度以前の数値については、把握できるもののみ入力。

(4) 総合計画等の指標の設定理由及び目標値・見込値の考え方

A	総合計画	通いの場（地域デイサービス等）への参加人数
	設定理由	住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、介護予防の取り組みとして、通いの場(地域デイサービス等)への参加者数を把握する。(介護長寿課資料)
	目標値	令和元年度の実績値(高齢者人口の13%)を踏まえ、令和7年度は高齢者人口の14%を目指す。通いの場の増設を検討する。令和6年度に西崎運動公園に整備される屋内運動場の活用を促進する。
	見込値	高齢者数の増加を勘案し、令和3年度実績値に毎年度10%程度の増加を見込む。
B	総合計画	認知症サポーター数（累計）
	設定理由	安心して暮らし続けられるよう、認知症に関する正しい知識と理解を持った人を増やすため、認知症サポーター数を把握する。(介護長寿課資料)
	目標値	令和2年度の実績値を踏まえ、毎年度300人の増加を目指す。
	見込値	サポーター養成講座について、集合して開催する形態に加え、オンライン開催により開催回数や参加者数の増加を見込み、もって毎年度350人の増加を見込む。
C	総合計画	介護予防ボランティアポイント制度への参加人数
	設定理由	生き生きと暮らし続けられるよう、社会参加と地域での支え合いの取り組みである、介護予防ボランティアポイント制度参加者数を把握する。(介護長寿課資料)
	目標値	一地域5人×40か所の配置を目指す。(令和12年度までにはさらに20人の増員を目指す。)
	見込値	令和5年度からの事業開始で、一地域5人×40か所で200人の配置を見込む。
D	参考	地域包括支援センターにおける総合相談の件数（実件数）
	設定理由	住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者に関する福祉、介護、権利擁護、医療等の様々な相談数(総合相談)を把握する。(介護長寿課資料)
	目標値	高齢者人口の15%を目指す。
	見込値	当該年度の高齢者人口推計値の15%を見込む。
E		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
F		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
G		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
H		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	

(5) 環境変化（個別計画策定状況、近年・今後の外部環境の変化等）	(6) 関係者の意見・要望
<div><ul style="list-style-type: none">・高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（第9期）を策定した。・地域型地域包括支援センター（北地区）が令和6年3月末で閉所となった。・介護予防・日常生活支援総合事業の利用者が増加している。・後期高齢者数が増加している。令和7年には団塊の世代が後期高齢期となるため、今後も増加していくことが見込まれる。・地域密着型介護老人福祉施設（かかずの杜）が令和5年10月に開所した。・地域福祉センターの整備に伴い、老人クラブ同好会の活動場所の検討が必要である。・願寿館の老朽化が進行している。</div>	<div><ul style="list-style-type: none">・市民や地域包括支援センター運営協議会から、身寄りのない高齢者への支援体制の充実を求める要望がある。・老人クラブから、会員数増に向けた方策検討の依頼がある。・老人クラブ同好会から、社会福祉センター解体後の活動場所の確保について要望がある。・高齢者から、移動手段の確保について要望がある。・市民から、介護保険料が高いという意見がある。</div>

2. 政策の実績評価

(1) 令和7年度（前期目標値）の指標の達成見込み							
指標A		総合計画【 通いの場（地域デイサービス等）への参加人数 】					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input checked="" type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由		・地域デイサービスにおける各地域の課題（新しい参加者が少ない、移動手段がない等）があり、従来の事業手法を含めた見直しを行わなければ目標達成が困難である。 ・令和7年度から事業の見直しを行い、通いの場や参加者を増加させるための方策を検討する。					
指標B		総合計画【 認知症サポーター数（累計） 】					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input checked="" type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由		・令和5年度は、企業、地域デイサービス、小学校等でサポーター養成講座を計14回開催し、276人のサポーターを養成した。 ・令和7年度から地域包括支援センターが3か所となり、認知症推進員も増え実施体制が整備されるため、サポーター養成講座の開催やサポーターの養成に係る取り組みを強化する。					
指標C		総合計画【 介護予防ボランティアポイント制度への参加人数 】					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input checked="" type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由		・令和6年度は、住民主体で介護予防等に取り組んでいる団体へ参加を促し参加者を増加させることができています。 ・今後も通いの場の取り組みを行っている地域に向き、参加促進を行うことで目標達成を目指す。					
指標D		参考【 地域包括支援センターにおける総合相談の件数（実件数） 】					
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由		・令和7年度から地域型地域包括支援センターが2か所となるため、相談件数の増加が見込まれる。 ・新しく開所する地域包括支援センターの周知を図り、相談件数の増加につなげる。					
指標E		【 】					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標F		【 】					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標G		【 】					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標H		【 】					
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標の数	4指標	うち現在の計画、取り組みにより目標達成見込み	1指標 (25.0%)	うち新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	2指標 (50.0%)	うち現在の想定では目標達成が困難	1指標 (25.0%)

(2) 前年度比較（令和4年度の市の取り組み・成果との比較）		
評価	成果がどちらかと言えば低下した	【5段階評価】 かなり向上～どちらかと言えば向上～ほとんど変わらない～どちらかと言えば低下～かなり低下
理由	<div><ul style="list-style-type: none">・令和4年度から全体的に伸び率が低くなっている。指標Bについて、サポーター養成講座の回数は増えたものの、1か所当たりの参加者数が少ない講座があったため、実績値が低くなっている。指標Cについては、年度途中での事業開始となり参加する団体が少なかったため、参加者数が伸びなかった。</div>	

(3) 他自治体との比較（令和5年度の実績の県内他市等との状況比較）			
評価	他自治体と比べてどちらかと言えば高い（良い）水準である	【5段階評価】 高い水準～どちらかと言えば高い水準～ほぼ同水準～どちらかと言えば低い水準～低い水準	比較対象 県内11市
理由	<div><ul style="list-style-type: none">・人口に占める認知症サポーターの割合は、県内11市の中で2番目に高い。</div>		

3. 政策を推進する上での現状と課題及び今後の取組方針

(1) 令和6年度の現状（令和5年度の実績を踏まえた政策（施策の展開）の取り組み）	
<div><ul style="list-style-type: none">・高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（第9期）において、介護保険料が前回から増額となった。・地域型地域包括支援センター（北地区）が令和6年3月末で閉所となったため、基幹包括が業務を担っている。公募により新たな事業者が選定されたことから、今年度中に業務引継ぎを開始する予定である。基幹包括及び地域型地域包括支援センター（南地区）においては、引き続き、アウトリーチとして地域住民からの情報収集等により、高齢者の実態把握を行っている。複合化・複雑化した課題解決のため、様々な関係機関とネットワーク構築を図っている。・介護サービスの質の向上、ケアマネジメント力の資質の向上、介護人材の確保等に努め、介護保険サービスの適正化を推進している。・介護予防の推進、自立支援・援助のため、介護予防・日常生活支援総合事業を実施している。・超高齢社会に対応できるような事業を形成することを目指し、「糸満市介護予防・日常生活支援総合事業見直し構想」を策定した。・高齢者の介護予防と保健事業の一体的事業を推進し、生活習慣病の重症化予防、フレイル予防を推進する。・地域の中での通いの場を推進し、生きがいを持って暮らせるよう支援する。</div>	

(2) 令和6年度の課題（政策（施策の展開）を推進する上での課題）	
<div><ul style="list-style-type: none">・介護保険料が県内13保険者中、2番目に高い金額となっている。・地域型地域包括支援センター（北地区）の業務を行っているため、他事業の業務に支障が生じている。・介護予防・日常生活支援総合事業費が伸びており、交付金の範囲内で事業実施ができていない。・交付金を超過した部分は「保健福祉事業」として実施しており、介護保険料を充当している。・介護に陥らせない自立支援と要介護状態の悪化の防止を推進するため、新たな事業展開を検討する必要がある。・介護給付費の分析を行い、給付費の伸びを緩やかにする方策を検討する必要がある。・高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（第9期）で掲げた新たな施策の手法について早めに取り組む必要がある。・専門職（会計年度任用職員）の確保が難しい。</div>	

(3) 令和7年度取組方針（令和6年度の現状・課題を踏まえ、令和7年度に優先的に取り組む予定のもの）	
<div><ul style="list-style-type: none">・令和6年度に策定した「糸満市介護予防・日常生活支援総合事業見直し構想」を基に、事業実施内容の見直しを行う。・令和7年4月から開所する地域型地域包括支援センター（北地区）の業務支援を行う。・高齢者数が増加する現状で、いつまでも住み慣れた地域で自分らしく生活ができるよう「地域包括ケアシステム」を推進する。・様々な関係機関との連携を推進し、高齢者の支援体制を構築する。・定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備を進める。</div>	